

教員名	坂元 章 (SAKAMOTO Akira)
所 属	文教育学部人間社会科学科心理学講座
学 位	博士 (社会学) (1992 東京大学)
職 名	教授
URL/E-mail	http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/socpsy/saka_member/sakmo-sidou-top.htm/sakamoto@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

メディア / 心理学 / テレビ / テレビゲーム / インターネット

◆主要業績

総数 (57) 件

- ・ Sakamoto, A. (2005) Video games and the psychological development of Japanese children. In I. Sigel (Series Ed.), D. W. Shwalb, J. Nakazawa, & B. J. Shwalb (Vol. Eds.), *Advances in applied developmental psychology: Theory, practice, and research from Japan*. Greenwich, CT: Information Age Publishing. Pp. 3-21.
- ・ 坂元 章 (研究代表者) (2006, 3) 青少年団体におけるメディア・リテラシー教育の取組と家庭・学校・地域の連携 —東アジアを中心に (第2期)— 平成 16 年度文部科学省委託「青少年を取り巻く有害環境対策の推進」調査研究事業報告書
- ・ 坂元 章 (2005, 9) メディア心理学とは何か —メディアと人間の関わりを研究する— 内田伸子 (編) 心理学 —こころの不思議を解き明かす— 光生館 Pp. 233-252.

◆研究内容

テレビ、テレビゲーム、インターネット、ケータイなどのメディアが人間の能力やパーソナリティにどのように影響するか、また、それらのメディアを教育、福祉、作業にどのように有効利用できるかについて主として心理学的な方法を用いて研究している。2005 年度においても、それらのメディアの影響について、いくつかの実験研究や調査研究を行った。また、メディアと人間が適切に関わるためにはどのような政策的、社会的、教育的取り組みがありうるかについても検討している。2005 年度においては、他の研究者とともに、文部科学省から委託された、中国、韓国、台湾、シンガポールのメディア・リテラシー教育についての視察調査プロジェクトを実施し、報告をまとめた。

◆教育内容

学部および大学院において、社会心理学に関する授業を担当しており、その領域の研究、理論、方法などの指導を行っている。卒業論文、修士論文、博士論文の研究においては、メディアに関するテーマを持つ学生が多く、その分野の指導を行っている。2005 年度においては、卒業論文では「携帯電話による e-ラーニング・コンテンツの内容分析」、修士論文では「テレビゲームと社会的適応の向上」「中国と日本の新聞はお互いをどう伝えているか」、博士論文では「アパレル CAD 教育システムの開発」などのタイトルの論文があった。

◆Research Pursuits

I have been studying how such media as TV, video games, the Internet, and mobile phones can affect human ability and personality and how the media can be usefully used for education, welfare, and work, mainly using psychological methods. In the fiscal year of 2005, I still conducted some experiments and surveys to investigate the effects of those media. I have also been examining which kinds of administrative, social, and educational plans should be possible to have people form appropriate relationships with media. In the fiscal year of 2005, I conducted an interviewing study project of media literacy education in China, Korea, Taiwan, and Singapore trust by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology with other researchers, and we presented a result report to the ministry.

◆共同研究例

- ・韓国・同徳女子大学との共同によるオンラインゲームと国際交流に関する研究
- ・米国・アイオワ大学との共同によるテレビゲームの暴力シーンに関する研究
- ・米国・カリフォルニア大学との共同によるテレビの暴力シーンに関する研究

◆将来の研究計画・研究の展望

現在、メディアの心理学的研究について、いくつかのテーマに関する研究を進めているが、今後は、それぞれの研究を充実させるとともに、この分野の研究の活性化や、その「メディア心理学」という一つの研究領域としての確立に尽力したい。

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・テレビゲームと教育に関する研究
- ・メディアと脳に関する研究
- ・メディア・コンテンツ制作者に関する研究

◆受験生等へのメッセージ

「メディアと人間の関わり」について知りたい方は、「メディアと人間の発達」(学文社、坂元 章編、2003 年)をご参照ください。とくにテレビゲームについては、「テレビゲームと子どもの心」(メタモル出版、坂元 章、2004 年)をご覧ください。

